

会 議 録

会議の名称	令和2年度 第1回社会教育委員会議
開催日時	令和2年8月3日（月）午後2時00分～午後3時30分
開催場所	所沢市役所 6階 604会議室
出席者の氏名	別紙のとおり
欠席者の氏名	別紙のとおり
説明者の職・氏名	
議 事	(1) 今任期のまとめ (2) その他
会 議 資 料	資料1：所沢市社会教育委員会議及び関連事業 開催経過 資料2：令和元年度「家庭教育向上のための仕掛けづくり」報告 資料3：新型コロナウイルス対応と今後の方針
担 当 部 課 名	教育長 大岩 幹夫、教育総務部長 千葉 裕之、教育総務次長 市川 雅美、文化財保護担当参事兼文化財保護課長事務取扱 肥沼 位昌、生涯学習推進センター所長 酒井 忠夫、スポーツ振興課長 廣谷 貴紀、所沢図書館長 古田 晃一 教育総務部社会教育課 社会教育課長 稲田 里織、主査 金田 俊一、主任 高橋 幸大、主任 竹迫 祐亮 教育総務部社会教育課 電話 04(2998)9242

所沢市社会教育委員会議出欠一覧

令和2年8月3日（月）午後2時00分から 市役所604会議室

選出根拠※	氏名	備考	出欠席
学校教育関係者	いしい のぶあき 石井 伸明	所沢市立小中学校校長会 (美原小学校校長)	出
学校教育関係者	いしみなめ ゆうだい 石嶺 雄大	所沢市幼児教育振興協議会 (美原幼稚園 園長)	出
社会教育関係者	ふじの くにお 藤野 邦夫	所沢市公民館運営審議会	出
社会教育関係者	なんば ひろゆき 難波 裕之	所沢こどもルネサンス実行委員会	出
社会教育関係者	よこた じゆんこ 横田 順子	所沢市スカウト協議会 (ガールスカウト埼玉県第6団)	出
社会教育・家庭教育関係者	はりう きよみ 針生 清美	柳瀬小学校図書ボランティア代表 柳瀬公民館保育スタッフ 柳瀬荘黄林閣(国重要文化財)管理人	出
社会教育関係者	おざわ さだやす 小沢 貞泰	(元)北秋津小学校区 心豊かな子どもを育てる学校と地域づくり連絡会議 北秋津ネット 議長 元北秋津小学校PTA会長	出
社会教育関係者	こまつ ふみこ 小松 扶美子	所沢市連合婦人会 会長	出
社会教育・家庭教育関係者	ごとう としたか 後藤 敏隆	所沢市PTA連合会 会長	欠
社会教育・家庭教育関係者	こばやし ひでこ 小林 ヒデ子	民生児童委員 人権擁護委員	欠
社会教育関係者	すどう とくこ 須藤 とく子	人権擁護委員 (元市内小学校長)	出
学識経験者	いとう あきよし 伊藤 明芳	秋草学園短期大学 地域保育学科准教授	出
学識経験者	おおぎはら あつし 扇原 淳	早稲田大学人間科学学術院 教授	出
学識経験者	たなべ しんいち 田部 真一	元市内小学校長	出
学識経験者	せき なおき 関 直規	東洋大学文学部 教育学科教授	欠

※選出根拠＝所沢市社会教育委員会条例第2条

令和2年8月1日現在

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>【1 開会】</p> <p>【2 あいさつ】 《教育長、議長があいさつを行った後、議長の進行により協議に入った。》</p> <p>【3 議事】（1）今任期のまとめについて 《事務局より資料1に沿って説明が行われた。》</p> <p>今任期では、スポーツ推進計画や図書館ビジョンなど、令和元年度から計画期間が開始する社会教育関連の各計画や、第9次地方分権一括法の成立による社会教育法の一部改正を受けて、所沢市の社会教育施設の在り方についてご意見をいただく中で、本市の郷土資料の保存や活用について、多くのご意見をいただき、施設見学や意見交換を行ってきた。また、活動としては、小沢委員を中心とした関東甲信越静社会教育研究大会の開催協力や、針生委員を中心とした、柳瀬地区でのつなぐミーティング開催と柳瀬小学校入学前の保護者を対象とした子育て講座の開催、また、教育委員との懇談会を開催した。つなぐミーティングと子育て講座については、以前の会議でもご報告をしているが、まとめとして資料を別添のとおり作成した。</p>
議長	<p>つなぐミーティングと子育て講座について、担当の委員より説明願いたい。</p>
委員	<p>小学1年生になる子どもを持つ保護者の方を対象に、PTA活動や保護者としての活動を負担に思わず楽しみながら活動できるかということを視点を企画を考えた。この企画は、柳瀬小学校の図書ボランティアや知り合いの方に声をかけて5名のお母さん達に協力してもらった。何か残るものを提供したいと考え、「れいわ君の1日」という小学1年生の1日の生活をまとめたリーフレットを作成した。このリーフレットでは、学校生活だけでなく日常生活についても触れることで、子どもと地域のつながりも読み取ってもらえるよう工夫して作成した。現小学1年生のお母さんには給食コラムを書いてもらい、小学5年生と中学3年生のお母さんには、それぞれ経験に基づき小学校に入学して以降の流れと子どもの成長に関する記事を書いてもらった。ロングサイズの講座になってしまったが、お母さん達に意図が伝わったのではと思っている。講座が終わった後に協力していただいたお母さん達のつながりを継続してつなげていくために集まる機会をつくろうと考えていたところ、コロナの影響により集まることができなかった。今回の講座を実施するに際して柳瀬小学校のお母さん達が何を望んでいるのか事前にアンケートを取り、ニーズを調べた上で実施し</p>

議長	<p>たため、参加者や校長先生からも良い評価を得られたように思う。</p> <p>ニーズを把握しながらの長い時間の準備が大変だったように思った。今説明いただいた内容は、家庭教育関連であったが、今任期の会議では社会教育関連施設として中富民俗資料館の見学も行った。それらを含めて、今任期の活動に対するご意見を願いたい。柳瀬小学校の事業については、公民館と学校が連携したことがとても大きな意義あることであったように思う。</p>
各委員	<p>特になし</p>
議長	<p>無いようであるが、また後ほど発言いただきたい。</p> <p>(2) その他</p>
議長	<p>入間地区の社会教育活動についてご報告願いたい。</p>
委員	<p>今年度、入間地区社会教育協議会会長及び埼玉縣市町村社会教育委員連絡協議会（以下県社連）の副会長となった。5月に予定されていた入間地区社会教育協議会の理事会・総会については、書面での決議とした。県社連については、3月にまとめの会議を行うはずだったが、コロナの影響で実施できていない状況である。入間地区社会教育協議会での活動については、緊急事態宣言が解除されるまでは様子を見て会議や研修は実施しなかった。年齢や各々の環境でコロナへの意識が異なり、日々状況も変化するため、会の運営について慎重に検討を進めている。7月に臨時本部役員会議を開催し、検温や消毒、その他体調管理や施設の利用方法等、活動する際の注意事項を確認した。例年10月に行っていた社会教育委員の研修会は中止の方向である。現在は今後の事業についてどのような形であれば実施できるか模索中であり、2月の生涯学習フォーラムについては、オンラインも含めてあらゆる手段を考えながら検討しているところである。このような状況下のため、失敗を恐れずトライアルでも何でもできることはやっていきたい。</p>
議長	<p>次に、教育委員会事務局各所属より、新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの対策や今後の予定について、ご報告願いたい。</p>
文化財保護担当 参事	<p>《資料3に沿って説明が行われた。》</p>

スポーツ振興課長	《資料3に沿って説明が行われた。》
生涯学習推進センター所長	《資料3に沿って説明が行われた。》
所沢図書館長	《資料3に沿って説明が行われた。》
社会教育課長	《資料3に沿って説明が行われた。》
議長	対応に対して、要望や意見がたくさんあったかと思うが、どのようなものがあったか情報提供できるものがあればお願いしたい。
社会教育課長	緊急事態宣言解除後、公民館は市民の学習活動の拠点のため、最初は座学のみで目的を絞って貸館業務を再開した。その後使用目的による制限は段階的に緩和していったが、合唱や息を吹き込む楽器を使用する団体等の活動は2か月近く制限していたため、使用できない団体から多くの問い合わせがあった。使用を制限していた合唱や吹奏楽の活動については、それぞれの団体をまとめる連盟の代表者から意見を聞く等どのような形であれば安全に使用できるか調整し、7月10日から目的制限なく使用できるようにした。今後については、新しい生活様式に合わせてどのように活動ができるかをそれぞれの団体に考えてもらいながら活動をしてもらうようお願いしている。
スポーツ振興課長	各体育施設の制限について、屋内の体育施設については、屋内施設は三密になりやすいとニュース報道で多く取り上げられたため、問い合わせはそこまで無かった。屋外の体育施設については、使用制限の解除前までは屋外は密を防げるのに何故制限するのかと問い合わせがあった。プールの使用については早くから中止を決定したため、混乱なく対応できた。
議長	委員それぞれそれぞれの立場で現状や行政に期待すること等ご報告・ご意見願いたい。
委員	実行委員として活動している所沢こどもルネサンスの事業については、多くの子どもを集めて行う事業ばかりのため、ほとんどが実施できず制限されている。どのような活動であればできるか検討しているところであるが、どのような活動であればできるか知恵を教えてください。

議長	学校の現場はどうか。
委員	<p>小学校の現状としては、授業ができる内容がだいぶ制限されている。5月末まで臨時休業で6月1日に入学式を行い、2部制の授業を3週間実施、通常どおりの時間で再開したのは6月22日からであった。現在も音楽では歌を歌わず、家庭科では調理実習を行わず、音読は一斉にしない等科目ごとに様々な制限がかかっている。各学年行っていた社会科見学については、校外に出て様々な見学や体験を行ったり、学校に団体を招いての学習を行ってきたが、実施に慎重になっている状況である。教員も子どもたちを地域に出したい、地域からも子どもたちに来てほしいという状況であるが、コロナ禍では難しい状況にある。</p>
議長	幼稚園はどのような状況か。
委員	<p>幼稚園の現状としては、3月に休園し、卒業式や謝恩会は縮小して実施した。4月からまた休園し、6月から分散登園、行事については、大きいものは中止として、各クラスでできるものは実施している。送迎バスについては、密になるため、時間はかかってしまうが本数を増やして安心して乗っていただけるようにしている。それでも乗れない方には遠慮してもらっている。2学期からは状況に応じてできる限り元の状況に戻していこうと考えているが、延期や中止する行事も増えてくるかという状況である。また、2か月程遅く始まったため、オムツがなかなか外れなかったり、不安で泣き出す子が多かったり、日中の生活リズムが崩れていて眠くなってしまう子もいる。泣いたり不安がる園児に対して、職員も表情をみせて言葉がけをしたいところであるが、マスクは外せないし、抱っこすることも不安な保護者もいるため、最大限配慮しながら保護者の了承してもらった上で対応している。</p> <p>また、学校の夏休みが短縮になっているので、預かり保育が多くなっている。職員も多く配置しているが、不安がある。同居の家族の体調管理も気になる。線引きが難しく個別対応している状況である。</p>
議長	幼稚園でも歌は歌っていないのか。
委員	<p>クラスで間隔をとり、換気をしながら行ったり、大きい部屋に移動したりしながらやっているが、回数は減っている状況である。</p>
議長	大学生の生活はどのような状況であるか。

委員	<p>大学では、授業をどのようにするかというのが大きな問題であった。実施にあたっては、授業のほとんどが遠隔授業であり、クラスルームやグーグルミーティングというアプリを使って行った。7月に少し収束したこともあり、対面授業を一部再開したが、コロナ禍において授業をする中で感じたことは、コロナへの意識が職員や学生それぞれで様々であったことやスマートフォンやパソコン等学生の受講環境に差があることを感じた。職員会議はグーグルミーティングを使用しているが、学生については受講環境に差があることも配慮しながら授業を行っている。一部再開した対面授業の中では、人と人との交流が元気を生むということを経験も実感し、学生からのアンケートでも強く感じた。コロナ禍で様々制限され、厳しい環境ではあるが、今後の糧にしてほしいと学生に指導している。後期については、引き続き遠隔授業も実施していくが、状況を見ながら対面授業を入れられるか判断していきたい。対面授業の科目としては、体育、芸術等のほか、ボランティアとして社会貢献する科目を設けている。ボランティア学習を通して地域のつながりを学んできたところであるが、今までボランティアを受け入れてきてくれた機関も受け入れが難しい状況となることも多く、今後どのようにそのような場を設けていくか苦慮しているところである。</p>
委員	<p>本学においてもズームを使用してオンラインで授業や会議を行っている。日本で一番早くオンラインだけで卒業できる学部もあったため、オンラインについてはノウハウを持っていた。授業以外では通学時にスクールバスを使用するため、バス内での密が課題であった。受講環境については、1年次にマックのパソコンの購入を義務としているため、各学生適応できているようである。しかしながら、他の大学の状況も見ると、全ての学生に自宅で学習できる環境が整っているわけではないと実感している。また、留学生がたくさんいるが、現在は海外へ出ることも海外から受け入れることもできていない。留学生については、オンライン授業だけだとビザがおりないという問題があるが、今年度は例外的に認めてもらっている。その他には、地域に出での学習が受け入れ先が見つからずできていなかったり、部活の大会が行えていない等大変な状況にある。そうした状況下でも研究活動については、学部4年生や大学院生は制限を緩和してなんとか行っている。行政に期待することは、ICTの環境整備を進めていく中で、対面でなければいけないものとそうでないものについて、これを機にしっかり切り分けることを考えてもらいたい。</p>
議長	<p>学校以外での活動はどうか。</p>
委員	<p>ボーイスカウトやガールスカウトの活動については、それぞれの団体で少し状況は異なっているが、所属するガールスカウトの状況を説明する。3月か</p>

委員	<p>ら活動を休止し、ステイホームの間、家族一員として何ができるのかを考えたり、医療従事者やスーパーの従業員等への感謝の気持ちをSNSに投稿するオンライン集会を実施した。6月からは3密を避けて航空公園等の野外で集会を行うようになった。実際に対面しての活動の際は、子どもの顔がイキイキしているように感じ、変化した環境が大きく子ども達へ影響していることを実感した。7月に入ってから、公民館で活動を行うようにもなったが、消毒や換気等の感染拡大防止対策が徹底されていた。市民文化フェアや市民フェスティバル等の大きなイベントが中止となり残念だが、できることを今後もやっていきたい。</p>
議長	<p>子ども食堂の活動をされている委員へ状況を伺いたい。</p>
委員	<p>子ども食堂については、市内に多数あるが、誰もが参加できる所と参加人数を制限している所がある。私が関わっている子ども食堂については、しっかり食事をできていない子どものみの参加と限定としている所であり、食事以外にも様々な問題を抱えている子どもが多くいる。緊急事態宣言中は集まって食事をすることができないため、1週間分のおかずを作って配布した。配布の際に子どもの様子を見ると、家にこもってしまっているため元気が無くなっているのが見受けられた。緊急事態宣言解除後の6月からはフードバンクの食材をもらい食事を提供している。浜松からうなぎを提供してくれる方もいて子ども達に振舞ったこともあった。一般家庭を使用しているため、密を避けるために色々配慮して提供している。コロナで親が失職した家庭には、お米や調味料等を定期的に提供することも行っている。このコロナ禍で子ども達の気力・意欲・士気がなくなっているのがとても強く感じている。関わっている一部の子ども食堂でそのような状況であるため、市内全体では多くの子ども達がそのような状況となり、コロナが子ども達に大きく影響していると危惧している。</p>
委員	<p>連合婦人会については、例年「市民文化フェア」や「ところざわまつり」等の市内の行事で焼きだんごを作ったり、民踊を披露している。焼きだんごについては、食文化の継承、民踊については、芸術文化の継承として長年取り組み続けている。今年度は、春から行事が全て中止となってしまっていて、秋の「ところざわまつり」の中止も決定したため、民踊の練習をしていた普段の活動も7月をもって休止としている。会員は高齢者も多くコロナ感染のリスクが高いことから活動が大きく制限されてしまう。来年は状況が良くなり、各種行事も行えるようになってほしいと願っている。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p>

議長	<p>最後に簡単ではあるが今任期のまとめについて述べる。視点は2つ挙げられる。1点目は、家庭教育の充実及び学校と地域の連携についてである。学校と公民館の連携を柳瀬地区で実践したことが大きな試みであったと思う。この実践の成果と課題を今後どう生かしていくかがとても重要である。2点目は、郷土資料の収集・保存活用についてである。過去を見るだけでなく、未来を見た収集・保存活用というのが重要である。それらを考えていく上で、人材の活用及び育成も重要であることを添えてまとめとしたい。</p> <p>《議事については以上で終了し、以下は議長に代わり、事務局が進行した》</p> <p>【4 その他】事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none">・社会教育課長から「令和4年度以降の成人のつどいについて」の説明があった。・社会教育課長から「埼玉県LINEコロナお知らせシステム」についての説明があった。 <p>【5 閉会】</p> <p>《議長のあいさつ後、閉会となる。》</p> <p style="text-align: right;">《以上で終了》</p>
----	--